

No.2568改

新緑が楽しめるかな？

二子山

実施日 2012年5月13日(日)
天候 晴れ
リーダー 中村友子 SL鈴木恵美子
参加者 佐藤金治、島本陳重、山崎富美江、鈴木恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、小名秀鋭、石附智子 計11名
費用 交通費 1,360円(池袋起算)
タイム 芦ヶ久保駅(10:15~10:55)水場(11:00~11:25)尾根(11:30~11:45)770m地点(11:45~12:05)雌岳(12:15~12:25)雄岳(13:30~14:25)昼食)富士浅間神社(14:25~15:10)道の駅(芦ヶ久保駅近く)

この所気圧が不安定で突然の雨に悩まされていたが、当日は雲一つなく最高の天気でした。本格的登山シーズン到来です。電車内も登山客でいっぱいでした。



芦ヶ久保駅を背に左折し登山開始、沢に沿いすぐにやや急登とる。木々の新緑、そよ風が我々を

迎え丁度良い気温。

40分ほど登ると水場に到着。雨が多かった為かたっぷりの流れだが、そのまま飲むのにはちょっと不安あり、やはり沸かした方が良さそう。ザゼンソウの看板があったが季節が違うのか見当たらなかった。



更に急な山道を登ると尾根に出る。あちらこちらに‘ヒトリシズカ’が目に入るが咲き終わった様だ。



昼食後北斜面下り途中で未だ咲き残った群生を見ることが出来た。雌岳手前は長いロープを頼ることになり、息を切らせやっとの事で雌岳。写真を撮り、雄岳に向かって下り、更に登り返す事10分で雄岳に到着。この10分も気が抜けない。



雌岳、雄岳総じて二子山。

山頂では武甲山、両神山の奥に、浅間山、苗場山と重なりまだすっかり雪をか



ぶった山々を眺め感激し昼食タイムとした。タップリ1時間の昼食タイムの後の下りも急坂で相当の注意が

必要。細い尾根を下ると小さな祠が祭っておりその前に富士浅間神社があるが手前は狭かったので、各自手を合わせそのまま通過、更に急な岩場を下り杉木立を進むと鳥居に出会い、くぐったあつという間に国道に出てしまう。ほどなく歩くと芦ヶ久保駅下にある道の駅に到着。



今日の無事に感謝し乾杯となった。行程のわりには、急坂、岩場、ロープあり、細い尾根、危険箇所ありの変化に富んだ山でした。

一柳リーダーの山行が出来なかったので急遽変更の山行でしたが皆様御協力有難うございました。

(記 中村 友子)
(写真提供・伊藤 久雄)

